「造形教育をもりあげる会」運営委員会

第66回造形教育研究大会　参加者の感想

○　今回初めてこちらの造形教育研究大会に参加させていただきました。

私自身、幼い頃幼稚園で行った造形活動に心からワクワクし、友だちと制作を一緒にすることの楽しさ、完成したときの喜び、それを壊さなければならない時の寂しさなど、様々なことが思い返されました。

大会テーマの中にある「自分をつくる」という言葉がまさにぴったりで、幼い頃の造形活動が自分をつくり、生きる活力になり、そして今、それを子どもたちに伝えていきたいという「明日をつくる」未来につなげていくことにリンクしているのだと改めて実感しました。

分科会に参加させていただき、子どもたちの提案から豊かな発想力で展開されていく造形活動の様子に改めて子どもの柔軟なアイデアやひらめきの力に驚き感動しました。また、環境への配慮や子どもたちの自発的、主体性に任せながら見守る先生方の姿勢もとても学びになり、私も、子どもたちが主体で楽しめるような造形活動をしてみたいと思いました。本当にありがとうございました。（保育園）

○　造形活動が身体の活動と結びつき、仲間と刺激を受けながら行うことで思わぬ方向に発展し楽しんでいる様子が分かります。子どもの感性を伸ばし、子どものやりたい事を待つ。「待つ」ということも大切な指導の方法なのかも知れません。どのような形、方法でも自分を表現するというのは大切なことと思います。

視点を広く持ち、自分の気持ちを素直に表現できる。それをそのまま受け止める社会・人間でありたいと祈りつつ、この会の発展をお祈りいたし、また参加し学ばせていただきたいと思います。

（保育園）

○　分科会５，６に参加させていただきました。小学校の先生のお話しで、こういうふうに子どもと話を進めているんだ、おもしろそう！という発見がたくさんありました。

私も楽しみながら参加させていただきました。ありがとうございました。　（幼稚園）

○　今回初めて参加させていただきました。分科会一つ一つに興味をそそられるものばかりで、全て聞きたかったなと感じました。午前中は、小学校の図画工作の実践を見させていただき、保育園児とはまた違った発想や、活動の展開があり、別のサポートの仕方も知ることができました。この分科会を通して、自分の引き出しを増やすきっかけになったとともに、小学校の教育方針や幼保小連携の面での参考になりました。

午後は、保育園の活動の発表を見ました。小学校の子どもたちとは違い、子どもらしい柔軟な感性を感じることができ、このような体験の上で、小学校、中学校・・・大人と様々な感性を育てていくことができるのだろうなと感じました。ありがとうございました。　（保育園）

○　分科会は、どちらも聞いていてワクワクするような内容で、楽しく、また、とても勉強になりました。

６つの分科会中、２つしか聞けないことが残念だったので、発表者の負担は大きいと思いますが、時間差で何回か発表していただけると嬉しいです。コロナ禍での開催ということで苦労も多かったと思いますが、スチレンボードを切って表現するなど、実際に体験することができたこともよかったです。ありがとうございました。（保育園）

○　いろいろな意味で大変良い刺激になりました。教材の新しい使い方だけでなく、分科会から、保育の何を大切にしていくのか、そして、それがどのようにつながっていくのかを教えていただけたように思い、感謝しております。今後、よい実践提案を提案できますよう学ばせていただきたいと思います。今度ともよろしくお願いいたします。（保育園）

○　コロナ禍における開催ありがとうございました。大変なご苦労だったと思います。運営者側の皆様の思いを現場に持ち帰り、子どもたちのワクワク、ドキドキにぜひつなげていこうと思います。いろいろな方の言葉、お話、研究内容、胸にささるものが多かったです。来年も参加したいです。ありがとうございました。（保育園）

○　このような素敵な会に参加できて本当によかったです。子どもたちの主体性がいかに大切かをあらためて感じる日となりました。また、造形を通して子どもたちの心の成長を促せることができると思いました。今後の活動に生かしていきたいと思います。（保育園）

○　分科会６のコロナ禍だからこそできる活動の可能性をすごく感じました。写真や動画、会話の内容を見て、子どもたちが主体的に動いていることが伝わってきました。先生が余裕をもって子どもの姿を理解しているからこそ、子どもたちと息があっているのだろうなと思いました。

　海の中の世界は、これから年長の保育の中で深めていきたいと思っていたことだったため、とても参考になりました。分身をつくるだけでなく、そのものになりきったり、動きを表現したりしている子もいて、可能性が広がると思いました。正解をつくらないで、子どもからでやアイデアを大切にできる保育者でありたいと思いました。“こどものやりたい”にできるだけ寄り添える人でありたいです。（幼稚園）

○　コロナ禍での開催に際して、たくさんの準備ありがとうございました。

　２０１９年に提案させていただいたときに多くの学びがあり、再び参加させていただきました。コロナ禍の保育は、保育時間が減り、できる経験も制限される中、クラスの中で気になる子、家族や保護者の課題等、たくさんのことに悩み、苦しみました。

　“すきまちゃん”の提案を聞いて、素材や教材に無理がなく、だれにでもつくれて、どこでも楽しめる人形がとてもよかったです。何か大きな活動テーマをやりとげようとするダイナミックな意気込みよりも、失敗感が少なく、教室に行きたくなるような活動でいいのだな･･･と肩の荷がおりて、ホッとできました。対象が１年生の９月という、休み明けにぴったりのものでした。ネットで家庭と繋がるのがステキでした。（幼稚園）

○　この度は貴重な提案の機会をいただきまして、ありがとうございました。幼児教育に関心が高まっていましたので、幼稚園、保育園関係の方からご意見を頂くことができ、大変励みとなりました。広い視野から造形教育の中での自分の実践を振り返るよい時間となりました。子どもがアートと関わる意義が広がっていくようがんばっていきたいと思います。

岡本先生の提案も、とっても興味深く思いました。生徒が将来自分の生活に夢をもって、住む（くらす）ことを考えていくって、とても魅力的です。どういう形態で形に表していくか話題になっていましたが、夢をふくらませて形にしようとしている過程が尊いと感じました。

運営等、さまざまなご準備、この大変な中、ありがとうございました。　（小学校）

○　２つの分科会でお話をお聞きして、子どもにとっての自己表現、他者との関わり、自己実現という面を育むために造形は大きな力になるのだと感じました。

第５分科会の「雲の絵を描いてみよう！」の活動では、１回の造形だけでなく、そこからどんどん活動が発展していき、さらに保護者も巻き込んでの活動になっていったというところがとても素敵だと思いました。子どもの発想、想像はとても面白いものがたくさんあります。それを制限せず、思うままに表現できるようにサポートしていきたいと思います。ありがとうございました。　（幼稚園）

○　コロナ禍で大変な状況の中、開催していただきありがとうございました。

自分自身は保育園勤務のため、小学校などでの取り組みなどは知らない部分も多かったので、大変勉強になりました。幼児期の取り組みがどのようにつながっていくのか、また、どのように保育士が援助をしていくことが必要なのかを考えることできました。対面で行うことで、多くの意見を聞き、自分では思いつかないこと、知らなかったことも大変参考になりました。

ワークショップも大人がワクワクするような内容を体験することができて、とても楽しかったです。子どもと共に楽しめる造形は、あらためて良い体験だということを実感しました。

○　とても勉強になりました。何より自分自身が楽しむことができました。子どもたちにも、ワクワクドキドキするような経験を提供できるよう保育の内容を考えていきたいと思います。また、次年度以降も参加できたらと思います。

○　今回初めての参加で、造形体験(スズランテープ)も楽しみにしていましたが、コロナで中止になってしまい残念でした。しかし、分科会での発表では、小学校の内容ではありましたが、自園にも取り入れたいと思うものばかりでした。園の造りで難しい部分もありますが、参考にして、これから予定している段ボール遊びと日常的に行っている新聞紙遊びに取り組んでいきたいと思いました。

「雲の絵を描こう」の発表では、子どもの事由で豊かな発想を引き出すために、導入として様々な工夫ができると改めて勉強になりました。つい“こうなったらいいな”と完成形を思い浮かべてしまいがちですが、子どもたちの自由な発想を大切にしていきたいと思います。本日はありがとうございました。　（保育園）

○　分科会でのことですが、発表を集中して聞いていると、となりの分科会の声が聞こえてくる。男女の

声の違いからか、こちらの先生の声が聞こえなくなってしまうことが何度かあり、マイクを使わないでやっていたようですが、個々の分科会でできないものか。

○　午前中の大高先生の発表では、先生の立ち位置がとても大事であると改めて感じました。乳幼児期の保育をしていただきたいと思いました。午後ののはら保育園の発表を聞かせていただき、もう少し表現を幅広くとらえ、環境だけを用意し、描きたい子が描き、ことば、リズム、音楽でと表現させるのも、子どもが選べてよかったのかなと感じました。
　全体を通して、あらためて、造形、保育を考える良いチャンスとなりました。　（保育園）

○　久しぶりの研究大会、出席させていただき良い勉強ができました。
　いつも感じることですが、（仕方のないことですが）同じ部屋の中で２つの分科会というのは、なかなか集中できず残念に思います。お考えいただけたら幸いです。
　また次回、楽しみにいたしております。　（保育園）

○　幼稚園や中学校の実践を聞く機会はなかなかないので、大変勉強になりました。今回、初めて参加させていただき、他地区の実践にふれさせていただいたこともとてもよかったと思いました。提案からたくさんの刺激をいただきました。夏休み明けの授業の中に、生かしたいなと思います。
　本当にありがとうございました。　（小学校）

○　造形に対しての見方が変わりました。特に、雲の絵を描くというテーマで活動した２園。子どものやりたいや、想像力を引き出し、尊重しながら創り上げていく。子どもと先生で気持ちが盛り上がりながら心に残る活動になっていると感じました。自分の保育にも取り入れていきたいです。　（保育園）

○　各園の活動の様子だったり、成果だったりを聞くことができて今後の参考になることが多く、貴重な時間だった。　（幼稚園）

○　いろいろな実践提案が聞けることがこの研究大会の楽しいところだと思います。
　大会を開いていただき、ありがとうございます。　（小学校）

○　コロナ禍の中、大会実施お疲れさまでした。
　楽しみにしていたので、開催されてよかったです。
　参考になるお話ありがとうございました。

○　初めて参加しました。
　自分の思考を表現する造形。素晴らしいです。
　分科会⑧のこれからの住むをデザインする授業が大変興味深かったです。

○　自分では思いつかないような考えを持っていて、子どもに対する促し方や声かけが参考になった。

造形を通して、子どもの発想力が向上していくと思った。見方を変えるだけで多くの発展があることが分かった。大人の固定観念で決めつけることなく、子どもの自由な発想に耳をかたむけることで、より魅力的な作品ができると感じた。子どもたちが興味をもって活動に参加できるよう保育士が環境設定することが大切だと感じた。コロナという状況下でも、コロナだからこそのテーマがあったりと、工夫しながら活動しているのだと感じた。（保育園）